

## 静かな春の旭岳

まだ残雪の残る旭岳ですが、日差しの強い日も多くなり、山にもようやく夏の訪れを感じます。

春が始まる頃はもともと閑散期ではありますが、今年はコロナの影響を受け、春雪の降るぐずついた空模様も相まって特に静かな日々でした。ロープウェイはGWを待たず運休となり、温泉街に人の気配も少なく、必然的に意識も春の雪から削がれ、野鳥や自然の存在を色濃く感じられた気がします。

リュウキンカやミズバショウが咲き乱れ、花や植物は安定して綺麗な姿を見せてくれます。

今年は勇駒別湿原のリュウキンカのピークと緊急事態宣言が重なってしまい、満開の湿原の花畑が人に見てもらえないまま枯れていくのは寂しい気持ちになりましたが、それは勝手な感傷でリュウキンカには何の関係もなく、世の中でどんな事が起こっても変わらず咲いて枯れていくサイクルも、花の美しさも、自然はどこまでも癒しそのものです。

コロナが完全に収束しないまま夏を迎えるのは複雑な心境もありますが、今年はどんなサマーシーズンになるのでしょうか。



Nature Column (ネーチャーコラム)  
自然ガイドなどで活躍する人々をリレーしています。

夏から秋にかけて姿見散策を楽しまれる方も多いと思いますが、姿見園地内の案内標識が老朽化しており現在再整備に向けて進んでおります。関係各所で写真やイラスト、文章を準備していますが、その中の野鳥のイラストを担当させていただきました。



リュウキンカ



ホシガラス

ノゴマ、ピンズイ、ホシガラス、ギンザンマシコの4種類の鳥をイラストで描いています。

いろんな方に協力して作成していただいている新しい標識をたくさんの方に見ていただきたいですが、「夏の旭岳も新しい標識も是非見に来てください」と遠慮なくお伝えできる日が戻りますように、と願ってやみません。

旭岳ビジターセンター 土井 啓子



## 中国のペット事情

東川町国際交流員 (C-I-R)

隋 娟

まず、東川町の皆様と共に緊急事態宣言の解除を喜びたいと思います。100年に一度と言われるような大災害を皆様と一緒にひとまず乗り越えることが出来たことを大変うれしく思い、かつ安堵しております。

この未曾有の苦境を皆さんが冷静に、そして優しく助け合いながら、克服していく様子に大変感銘を受けました。また、私のような者にまでいろいろご配慮いただいたことに心より感謝申し上げます。

皆様と共に苦境を乗り越えようとしている今、私は皆様との身近さ、親近感をひしひしと感じております。是非とも皆様のお仲間入りをさせて頂きたいと思っております。

平穏な日常が少しずつ戻り始め、日常あるいは平常の大切さ、喜びを改めて実感している今日この頃でございます。本当に良かった!!

とは言え、新型コロナウイルス問題はまだまだ完全に解決されていないようです。これからも互いに注意し、助け合い、困難を乗り越えて行きましょう! もちろん、外に行けない、友だちとも



会えないなど、ステイホームで我慢を強いられる部分もありますが、一方、在宅時間が長いため、家族サービスをしたり、ペットと戯れたり、自由に過ごせる時間も増えることになり「せめてもの、今までと違った癒し」と言えるでしょう。というわけで、このコラムをお借りして、中国における「ペット」事情を今月来月と2回に分けて紹介したいと思います。

### ペット2強の首位争い

中国は今、空前の「猫ブーム」です。現在の中国社会では、生活レベルが向上すると同時に、少子高齢化も進み、独身・単身世帯が増加し、ペットを家族の一員として愛情を注いだり、癒やしや安らぎを求めたりする傾向が高まりつつあります。

中でも、ペット界の「2強」と位置付けられる犬と猫ですが、散歩をする必要がなく、あまり手間がかからないなどの理由で、人気は飼い犬から飼い猫へとシフトしているようです。

昨年8月に公表された「2019年中国ペット業界白書」によると、中国で飼われている猫の数は2019年現在、4412万頭、飼っている犬は5503万頭と、猫の絶対数では犬に敵わないようですが、前年比8.6%増と、伸び率において初めて犬を抜いたことがわかりました。

今回は「雲吸猫」、「猫奴」など最近の流行語を通して中国の猫ブームを紹介したいと思います。